

令和4年度 秋の公民館講座

日本人の源流・ 神話を訪ねて

古事記から読み解く「言葉」の力
～神話の神々や天皇が語ったこと～下

古事記で、神話の神々や歴代天皇が語った言葉から、現在でも通じる知恵や生きるヒントを読み解いた春の講座の続編です。今回は、上下関係の中で使われた言葉、対等の関係で使われた言葉、独りでついついぶやいた言葉を取り上げます。①は指示・命令をどう行ったか、②は交渉などをどうまとめようとしたか、③は権力者が孤独のあまり、どこまで心情をさらけ出したか、などを考証することになります。それぞれの成否とともに読んでいけば、現在に生きる私たちが参考にしたくなるような内容になると思います。古事記は日本人の源流。そう実感する講座にしたいものです。

10月3日（月）

指示・命令～どう従わせ、従うかの知恵～

11月7日（月）

交渉～ものごとをまとめる言葉とは～

12月5日（月）

独語（ひとりごと）～己の知恵と感情の塊



【講師】安本 寿久

兵庫県生まれ。産経新聞社会部次長、編集局次長兼総合編集部長、産経新聞編集長などを経て特別記者編集委員。著書に『評伝廣瀬武夫』、共著に『親と子の日本史』『坂の上の雲をゆく』『人口減少時代の読み方』など。ラジオ大阪「ラジオ産経 ビジネスジャーナル」(金曜22時)。※「神話取材班キャップ」として執筆
『国民の神話～日本人の源流を訪ねて』(平成26年 産経新聞出版刊)
『神話の中のヒメたち～もうひとつの古事記』(平成30年 産経新聞出版刊)

①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号 フリガナ を記入の上、ハガキかファックスで 9月12日（月）までに公民館へ（応募者多数の場合は市民を優先の上、抽選）※結果はハガキでご連絡いたします。

会場 401室 / 定員 90名 10：00～11：30 受講料 1500円（3回分一括）

QRコードでも申し込みます（QRコードについてのお問合せは✉ ashiyagawa.c@gmail.comのみ）

【宛先】〒659-0068 芦屋市業平町8-24 芦屋市立公民館 TEL:0797-35-0700 FAX:31-4998 【主催】芦屋市立公民館

